

事業所名 キッズデイサービスらくだ長湯店

公表日 2025年3月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・基準は満たしており、学習室や静養室を利用して窮屈にならないように過ごしていただいています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基準を満たしている他、児童数や特性をふまえ職員の配置を行っております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・ホワイトボードでのスケジュールの提示や、絵カード等を活用し、子どもにわかりやすい環境を整えています。	・玄関についてはバリアフリー化されていませんが、必要時はスタッフが介助し安全の配慮を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・施設内を季節に合わせた装飾を行うとともに、定期的な消毒と整頓を行っております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・学習室や静養室を、必要に応じて使用できる環境となっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・スタッフ間で日々ミーティング時に行っています。また、連絡ノートを活用して休みのスタッフにも周知しております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表や面談時等に意向を聞き、改善につなげています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日々のミーティングの他、面談を通して意見を聞き、改善につなげています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在、外部評価は行っておりませんが、必要に応じて取り入れていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・1月に1回の社内研修や、外部研修受講の機会を設けています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・現在、ホームページにて公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的な面談や日々の様子をふまえ、個別支援計画を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・計画作成における支援会議にて、スタッフの意見も取り入れて作成しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画の確認をスタッフ全員に行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・現在は自社のアセスメントツールを使用していますが、来年度よりヴァインランドやキッズを取り入れたアセスメントを実施予定です。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・各項目および5領域を取り入れた個別支援計画を作成しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・月の活動予定を2人チームで意見を出し合い作成しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・同じ活動でも内容を変えて実施しています。また、毎月新しい活動を考え取り入れています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・状況に合わせた計画を作成しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・平日は打ち合わせを行い、チームで支援や担当を確認しています。	・長期休暇中や学休日には打ち合わせの時間が取れませんが、都度振り返りや職員間で情報共有を行っています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・翌日の打ち合わせで共有しています。 ・学休日には、個別で口頭で伝えたり、連絡ノートで共有しています。また、児童が帰った後に気づいた点などを口頭で共有しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の記録や振り返りを基に、改善に努めています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度以上のモニタリングを行い、必要時に見直しを行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・組み合わせ支援を行っています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・遊びや活動の中で子どもたち自身で考え、選択する機会を設けています。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参画しています。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて、家族を通して主治医や協力医療機関に指示を仰いだり、学校での支援内容を共有しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・相互の予定表を共有し、必要時には連絡をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・移行会議への参加や保護者、相談員を通じて情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・移行会議への参加や情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・会議において情報共有を行ったり、助言をいただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域のイベントに参加しています。また、秋に他事業所との交流会を行いました。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や面談時に、情報共有等を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・必要時に助言を行っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時や制度の変更にあわせて行っています。	
	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントや面談から意向を確認し、計画書に反映しています。	
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・計画作成後、説明を行い同意を得ています。	
	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・面談時や必要に応じて助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	○		・去年3月に、演武を用いた家族で楽しめる活動を行いました。	・コロナの影響もあり、保護者会を休止していましたが、来年度より保護者会を実施予定です。
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情、要望の受付窓口を設置し、契約時に説明、施設内に掲示しています。また、苦情等あれば迅速に対応を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ホームページやHUGにおいて、情報の発信を行っています。また、イベント等あるときは、行事のおしらせ等を発行しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・社内の情報については、鍵付きの棚で管理し、職員においては雇用契約の際に秘密保持の契約を結んでいます。	
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードやタブレット等を用いて行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・事業所の行事には招待できていませんが、地域のイベントに参加しています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを策定しており、職員へは入職時、家族へは契約時に説明しています。また、定期的に訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、災害は毎月、感染症は年1回研修を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬やてんかん発作の児童は、見学時や契約時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・必要に応じて家族を通し情報をもらっています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・計画を作成し、訓練や点検等を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・HUGにて、予定や内容について報告しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・報告書を作成し、検討を行い再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的な社内研修や外部研修を受講しています。また、毎月虐待、身体拘束についてディスカッションを行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・必要に応じて組織内で決定し、保護者に了承を得て計画に組み込んでいます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズデイサービスらくだ長湯店		
○保護者評価実施期間	2024年11月18日		2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	2025年1月4日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・医療ケア児の受け入れ態勢ができており、看護師が常駐していること	・医療的ケアや怪我、体調不良への対応等。	・医療ケア児の滞在時間や利用人数を伸ばせるよう、看護師の増員を行う。
2	・地域交流の機会を作っていること	・地域のイベントへの参加や他事業所との合同イベントを開催している。	・ホームページへの掲載や、事業所間や地域におけるつながりを強化し、交流の機会を増やす。
3	・リハビリ職員を配置していること	・言語聴覚士によるリハビリを行っている。	・来年度よりヴァインランド、キッズを活用予定。 ・系列事業所のPT、OTと連携を取り、リハビリの幅を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設がバリアフリー化されていないこと	・玄関の段差が高い。 ・トイレや洗面所の入り口が狭い。	・現在、スタッフによる介助で安全への配慮をしているが、今後スロープの設置等が必要になれば検討する必要がある。
2	・保護者同士の交流の機会がないこと	・コロナ禍は、感染予防の観点から保護者会を中止していた。	・感染症が落ち着いたため今年度より再開し、保護者同士がつながるきっかけや、悩みを打ち明ける場になるよう努めていく。
3			